



西浜通信

茅ヶ崎市立西浜小学校

2026年9月30日

10月号

校長 木村 千裕

学校教育目標 ～人間性豊かでたくましく 主体的に行動する児童の育成～

【学校スローガン】「自分も人も大切に「笑顔あふれる西浜小学校」をめざして」

【めざす子どもの姿】 すすんでやる子 がんばる子 思いやりのある子



10月24日の運動会に向けて、各学年の練習が始まっています。今年の運動会も昨年と同様に午前開催で、種目はダンスを全学年が、徒競走を2・4・6学年、団体競技を1・3・5学年が行います。こうした本番の演技や競技を陰ながら支えるのが運動会係を務める5年生・6年生です。運動会当日は、グラウンドの真ん中で行われる各学年の演技や競技に大きな拍手をお願いするとともに、「陰の立役者」となる運動会係の5年生・6年生にも心の中で大きな拍手をお願いします。

早いもので、10月9日には前期の終業式を迎えますが、この節目に、各担任から子どもたちへ「家庭へのしらせ」が手渡されます。「家庭へのしらせ」の目的は、保護者の方と学校が連携を図り、「子どもの成長を確かめ、次のステップへの意欲を引き出すこと」にあると考えます。



お手元に届きましたら、お子様と一緒に「家庭へのしらせ」を読んでいただきたいと思います。その際、保護者の皆様に大切にしていいただきたいのは、「プロセス（努力の過程）」を言葉にして褒めていただきたいと思います。

例えば、「『できる』の〇の数」という結果だけでなく、担任からの「学校生活のようす」を読んでいただき、「コツコツ頑張った成果が表れたね」「お友達に優しくできたって書いてあって嬉しいよ」など、具体的な行動を価値づけてあげてください。

また、思うような結果が出ていない部分があったとしても、決して叱るための材料にしないでください。「〇〇を頑張ったのだから、〇〇すればもっと良くなるよ」などの、前向きな言葉をかけてあげることが、子どもたちの「頑張ろう」というエネルギーを湧き出させると思います。



子どもたちは、保護者の皆様に自分の頑張りを認められ、褒められることで、自己肯定感を高め、次のステップへと踏み出す勇気を得ることが出来ます。是非とも、お子様の頑張りをたくさん褒めていただき、笑顔で後期がスタートできるよう、背中を押してあげてください。

9月8・9日に6年生の修学旅行がありました。出発前日が大雨のため臨時休業になったこともあり、天候が心配される中での出発となりました。残念ながら日光についても天候の回復はなく、華厳の滝は深い霧で真っ白、日光東照宮でのグループ活動中も雨に降られる天候となりました。しかし、子どもたちの表情が曇ることはなく、雨の中で声を掛け合い、グループの仲間を気遣ったりする姿が随所に見られました。修学旅行の目的のひとつに「集団行動を通して絆を深める」があります。晴天の元では気づけなかった仲間の優しさや、困難な状況を笑顔で乗り越えるたくましさを、子どもたちはこの「雨の日光」で十二分に発揮し、最高の思い出と深い学びを得てくれました。

